

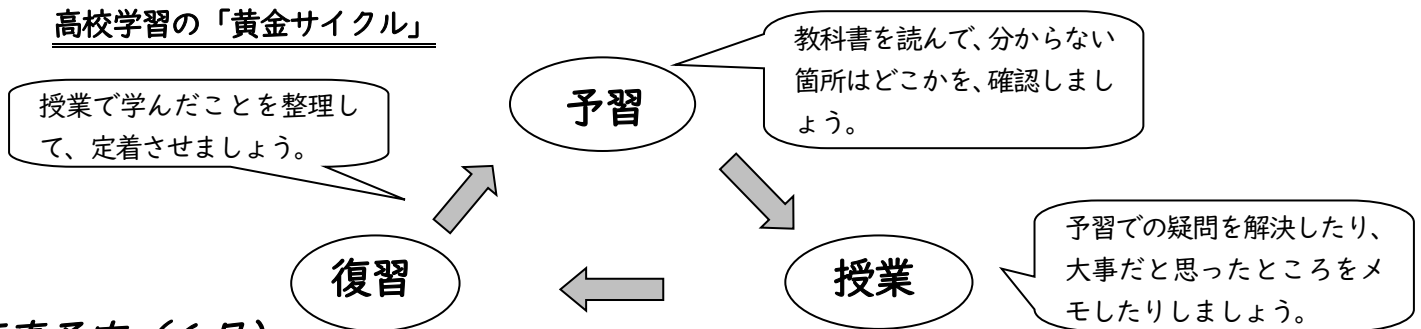
学校生活に慣れてきた今こそ、学習習慣の確立を！

1学期中間試験が終わり、結果はどうでしたか。中間試験の範囲は中学からの橋渡し部分です。本当の高校の内容は今から始まります。今こそ、高校生としての「学習習慣」を確立させましょう。

今回の試験勉強で、うまく勉強が進まない科目があった人は、授業をどれくらい大切に受けていたかを振り返ってみてください。わからないことがあったのに、そのまま放置してここまでできてしまったことはないでしょうか？予習が不十分で授業を受けたために、授業を受けた直後はわかったつもりが、実際はよくわかっていなかったことはありませんか？復習で実際に問題を解いてみましたか？単語を手で書いてみましたか？目で追うだけの復習では間に合わない内容になってきています。思い当たるところがある人は、学習方法を修正しましょう。

ある統計によれば、1年生の5月から1学期期末試験までの学習習慣が今後3年間を決定づけるそうです。この時期に机に向かって学習する習慣がきちんと身についた人は、その後の学習時間も安定して推移し、学年が上がるにつれて学習時間を増やすこともスムーズにできます。

高校学習の「黄金サイクル」



行事予定 (6月)

月	火	水	木	金	土	日
		1	2 県総体・県総文① (特別時間割)	3 県総体・県総文② (特別時間割)	4 県総体・ 県総文③	5 県総体・ 県総文④
6	7	8	9 歯科検診	10 交通安全教室 (6・7限)	11	12
13	14 紫錦祭準備(LH)	15	16	17	18 北信越 大会①	19 北信越 大会②
20	21 紫錦祭準備(LH) グッドマナー キャンペーン①	22 グッドマナー キャンペーン②	23 1学期期末試験①	24 1学期期末試験②	25	26
27 1学期期末試験③	28 1学期期末試験④	29 1学期期末試験⑤ 図書館選書会 紫錦祭 準備	30			

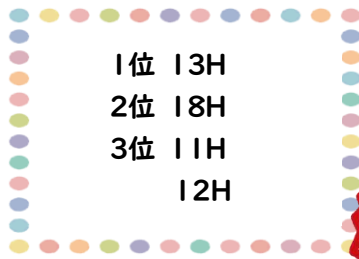
総体・総文とは…

運動部・文化部ともに全国大会につながる県予選が行われます。出場する皆さんはベストを尽くし、先輩を力いっぱい応援しましょう！学校に残る生徒は3時間の自学自習を行います。

遠足 (5/20) を行いました！

5月20日、大乘寺丘陵公園への遠足を実施しました。合同レクリエーションでは、クラス対抗王様おにごっこを行い、学年全体で盛り上がりました。自由時間も開放的な気分で、それぞれが楽しんで過ごすことができました。コロナ禍でさまざまな制限はありますが、今後も出来る範囲で楽しんでいきたいですね。

王様おにごっこ結果発表!!



1学期期末試験 (6/23~29)

今月末には早くも期末試験を迎えます。中間試験よりも、試験期間が5日間と長くなり、科目数も7科目から12科目に増えますので、以下の点に注意をして、試験に臨みましょう。フォーサイトを利用して、早めに計画を立てるのもいいですね。

- ①日々授業の予習や復習を欠かさない (復習の仕方を前回と変えてみる)
- ②計画的に試験勉強を進めていく (毎日 予習+αの時間を確保する)
- ③科目ごとに勉強量のムラを作らない

文理選択に向けて

【興味のある学部系統】 (単位: %)

4月初めに実施した「スタディーサポート」によると、本校1年生の興味のある学部系統は、右のようになっています。全国平均と同様に、「理・工・情報系」「法・経済・商・社会系」に興味を持っている人が多いようです。一方で、「進学希望だが内容は未定」という生徒が、2割いますが、これから課題探究で行う「学問調べ」や「職業調べ」で自分の興味を探ったり、気になる大学や職業をインターネットで調べてみたりするのもよいですね。

選択肢	校内	全国
理・工・情報系	17.0	17.6
医・歯・薬系	8.5	7.8
農・水産・獣医畜産系	1.9	2.8
文・語学系	4.7	4.7
教育系	7.3	7.2
法・経済・商・社会系	11.7	8.2
体育・芸術系	6.3	1.9
医療看護・福祉系	6.0	8.2
人間・国際・総合などの学際系	8.2	3.8
家政・生活科学系	0.6	0.9
進学希望だが内容は未定	20.5	32.0
その他	7.2	5.0

夏休み後の文理選択に向けて、自分の興味関心や適性を見極めていくことが大切です。コロナ禍の現在、多くの大学が夏休みのオープンキャンパスではなく、ホームページで多くの動画や情報を公開していますので、積極的に調べてみましょう。

ベネッセ総合学カテスト (第1回7月9日)

全国約50万人の生徒が受験する外部試験です。年間3回(第2回は10月、第3回は1月)行われます。授業での学習を確認する定期試験とは異なり、初見の問題でどこまでできるかを試す、よい機会です。7月時点での自己の学力を知るとともに、全国を意識して、更なる学力向上を目指す機会としてください。